

農を「強く」
地域を「育む」
はぐく

TAHARA

たはら
21

① 新 農業プラン

概要



田原市

平成25年3月

プランの目的と性格



プランの目的・主旨

平成19年度にスタートした現行の「たはら21新農業プラン」は、「ブランド戦略や農村文化の継承」「情報化への対応」「環境保全型農業の展開」などを目標に掲げて施策展開し、平成23年度に前期期間を終えました。

今回の改訂では社会情勢の変化を踏まえ、策定後5年経過した現在のプランの達成状況の確認、施策の見直し、行動計画（アクションプラン）の策定を行い、農家、JA、行政（県・市）等が一体となった農業振興の取組を明確にしました。

この「たはら21新農業プラン」を、『農家が考え、農家が行い、農家のためのプラン』とすることにより、地域全体で地域農業を育て、上記の課題に対応できる持続性のある農業地帯を形成することを目指します。

改訂版の性格

■改訂に当たっての留意点

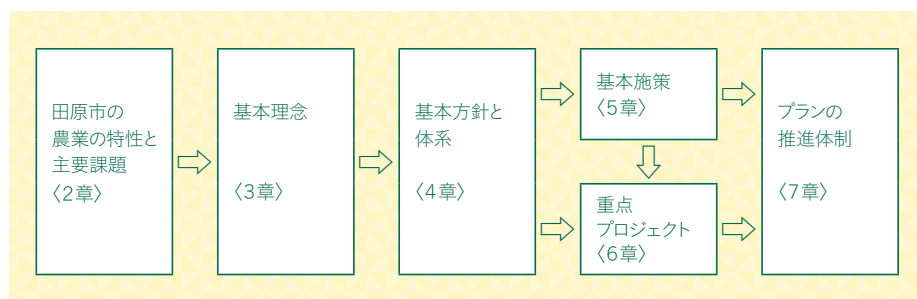
- ①市民と行政が未来を共有し、協働で取り組むプランとしました。
改訂過程に市民や農業関係者の参加の機会を盛り込み、農業関係者の力を引き出すことができるプランとしました。
- ②農業政策運営の指針として活用できるプランとしました。
- ③田原市総合計画の改定に合わせたプランの見直しを行いました。

■目標年次

平成19年度から平成23年度の5年間の評価を実施した上で、平成29年度を目標年次としました。

プランの構成

田原市の農業の現状と課題、課題への対応、及び特に力点を置く施策や取組を明確にし、プランを簡便かつ体系的に整理しました。



将来像 プランの基本理念と



基本理念を具現化したものとして、将来像を下記のとおり掲げます。

〈基本理念〉

1 渥美半島の農業を守る！

——「強い農業」を展開する

- 日本一の農業産地を持続
- 産業や生活の場として豊かな半島
- 結び付きや絆を感じてもらえること

2 渥美半島の環境を愛でる！

——「環境にやさしい農業」を展開する

- 生活環境を大切にすること
- 自然を大切にすること
- 安心して食べることができる農畜産物の供給

3 渥美半島の農業を育てる！

——「輝く農業」を展開する

- 農業を支える人財(材)の育成
- 創意工夫をもって小さな資源を伸ばす農業
- 定年退職者の生きがいや、市民が農業にかかわること
- 農業資源の交流や観光への活用

4 渥美半島から農業の風を起こす！

——「攻めの農業」を展開する

- 農業の体質改善や農政改革の促進に寄与
- 競争力と市場開拓力、「たはらファン」の開拓
- 優れた農業技術を知的財産として継承

〈将来像〉

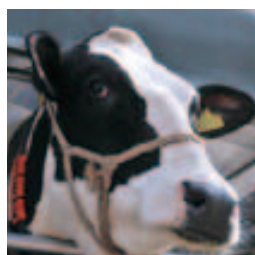
農を「強く」地域を「育む」

田原市の農業は、農家が力を発揮することはもちろん、市民とともに農業に愛着を持ち、日本でトップクラスの産地を持続していきます。

農家が自信と誇りを持って力強い農業を目指し、市民が農業を理解し親しみ楽しむことで、「農」を通じて地域の振興を図っていきます。

〈基本目標〉 計画期間における目標値を次のように設定します。

	当初：平成18年	中間値：平成23年	目標値：平成29年
農業産出額	724億円	713億円(推計)	800億円
食料自給率	130%	125%(推計)	130%
耕作放棄地面積	517ha	459ha	375ha
認定農業者数	876人	1,179人	1,500人



プランの体系

基本方針は、「人づくり」「技づくり」「産地づくり」「ゆとりづくり」「土づくり」「耕地づくり」の6つを掲げます。基本施策は、将来像の実現を図るため、基本方針に従い、計画期間内に具体的に取り組む事業の内容を示すものです。基本施策は、6つの基本方針の下に20の施策を配し体系的に再整理します。

【基本方針】

【基本施策】

● 担い手の育成・確保のために ●

基本方針1

— 人づくり —

担い手づくりの推進

- 後継者・新規就農者育成
- 人手の確保・雇用対策の推進
- 営農支援機能の整備
- 企業的経営の推進

● 新たな農業戦略のために ●

基本方針2

— 技づくり —

環境保全、
 情報化等新技术への対応

- 環境保全型農業の展開
- 畜産経営の支援
- 自然エネルギーの活用
- IT農業の推進

基本方針3

— 産地づくり —

農業経営の活性化

- 経営基盤の強化・ブランド化の推進
- 販路拡大の推進
- 農業観光の推進

基本方針4

— ゆとりづくり —

交流・食育の推進

- 農村生活環境の整備
- コミュニティ・農村生活の向上
- 食育と健康づくり・農業に親しむ機会づくり

● 耕作放棄地の解消のために ●

基本方針5

— 土づくり —

農地の保全・活用の推進

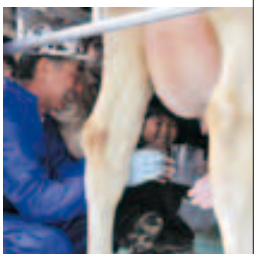
- 優良農地の保全や利用集積
- 耕作放棄地の解消
- 菜の花エコプロジェクトの推進

基本方針6

— 耕地づくり —

農業基盤整備の推進

- 営農のための基盤整備
- 用水の安定的な確保
- 農地・水・環境の保全



担い手の育成・確保

〔重点プロジェクト1〕



担い手の育成・確保を図るために取り組まなければならない3つの取組「経営体の強化」「育成制度の強化」「教育・啓発活動の積極的な展開」について具体策を提示します。

■ 経営体の強化

- 「新たな農業経営指標（農家カルテ）」により、個別農家へのきめ細やかな経営診断や指導を行います。
- 家族経営協定の締結を推進するとともに、「農休日（休日制度）」の普及啓発を図ります。
- 農業ヘルパー派遣制度を充実します。

■ 育成制度の強化

- 多様な担い手確保のために、農業講座を開設します。
- 農業よろず相談窓口を開設します。
- 農地権利取得要件の緩和に取り組みます。

■ 教育・啓発活動の積極的な展開

- 農業イメージを向上するための啓発活動を展開します。
- 保育園、小学校、中学校でふるさと学習（農業）を行います。
- 農業を後世に引き継いでいくための話し合いを行います。



新たな農業戦略

【重点プロジェクト2】

新たな農業戦略として取り組まなければならない4つの取組「地域ブランドの推進」「経費削減や環境に配慮した技術の導入」「農商工連携・6次産業化の推進」「海外への輸出推進」について具体策を提示します。

■ 地域ブランドの推進

- 地元から田原市の農業への関心を高め、田原市の農畜産物の安全性や品質・栄養価・おいしさ等を消費者にわかりやすく明確に伝えることで、農畜産物の需要拡大を図ります。
- マーケットニーズを調査し、品目毎にターゲットを設定、きめ細やかな戦略を立てて販売を行います。
- ブランドタイトルに「渥美半島」を加えていきます。
- 高品質で安心・安全な農畜産物づくりを行い、環境保全型農業を推進します。
- 「農の匠」の認定等による品目別ブランドづくりを行います。

■ 経費削減や環境に配慮した技術の導入

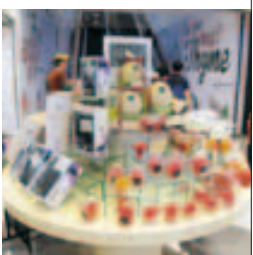
- 低炭素施設園芸づくりに取り組みます。
- 新技術に関する情報の収集・発信を強化し、導入支援を行います。
- 産学官の連携により新たな農業技術の習得を目指します。

■ 農商工連携・6次産業化の推進

- 農商工連携を推進するため、農家と商工業者とのマッチングの場を提供します。
- 女性を中心とした市民参加型の新商品・加工品開発に取り組みます。
- 地域の資源を生かす地産地消を推進します。
- 活力の向上のための農商工連携・6次産業化を推進します。
- 農家による空き店舗の活用を推進します。

■ 海外への輸出推進

- 豊橋田原広域農業推進会議等へ参画し、農産物・加工品の輸出など先進的な取組を進めます。
- オールジャパンの食品展に参加することで、海外販路開拓事業に取り組みます。



重点プロジェクト3 耕作放棄地の解消



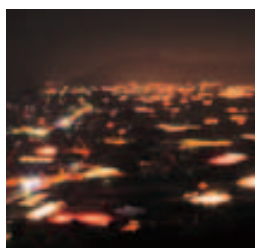
耕作放棄地の解消として取り組まなければならない2つの取組「農地情報の共有化」「仲介機能の強化」について具体策を提示します。

■ 農地情報の共有化

- 農地は農家が守ります。自分で守れない農地は、すみやかに農地バンクへ登録します。
- 耕作放棄地カルテを作成し情報の共有化を図ります。
- 耕作放棄地再生利用緊急対策事業を活用し、耕作放棄地の解消を進めます。
- 総合整備事業を計画的に行います。
- 農地の適正管理について周知・啓発を徹底します。

■ 仲介機能の強化

- 県と市の営農に関する相談窓口をワンフロア化し、きめ細かな対応を展開します。
- 園芸施設の有効利用を行います。
- 農地の利用権設定のさらなる推進を図ります。
- 営農相談の強化を行います。
- 菜の花エコプロジェクトによる耕作放棄地の解消を推進します。



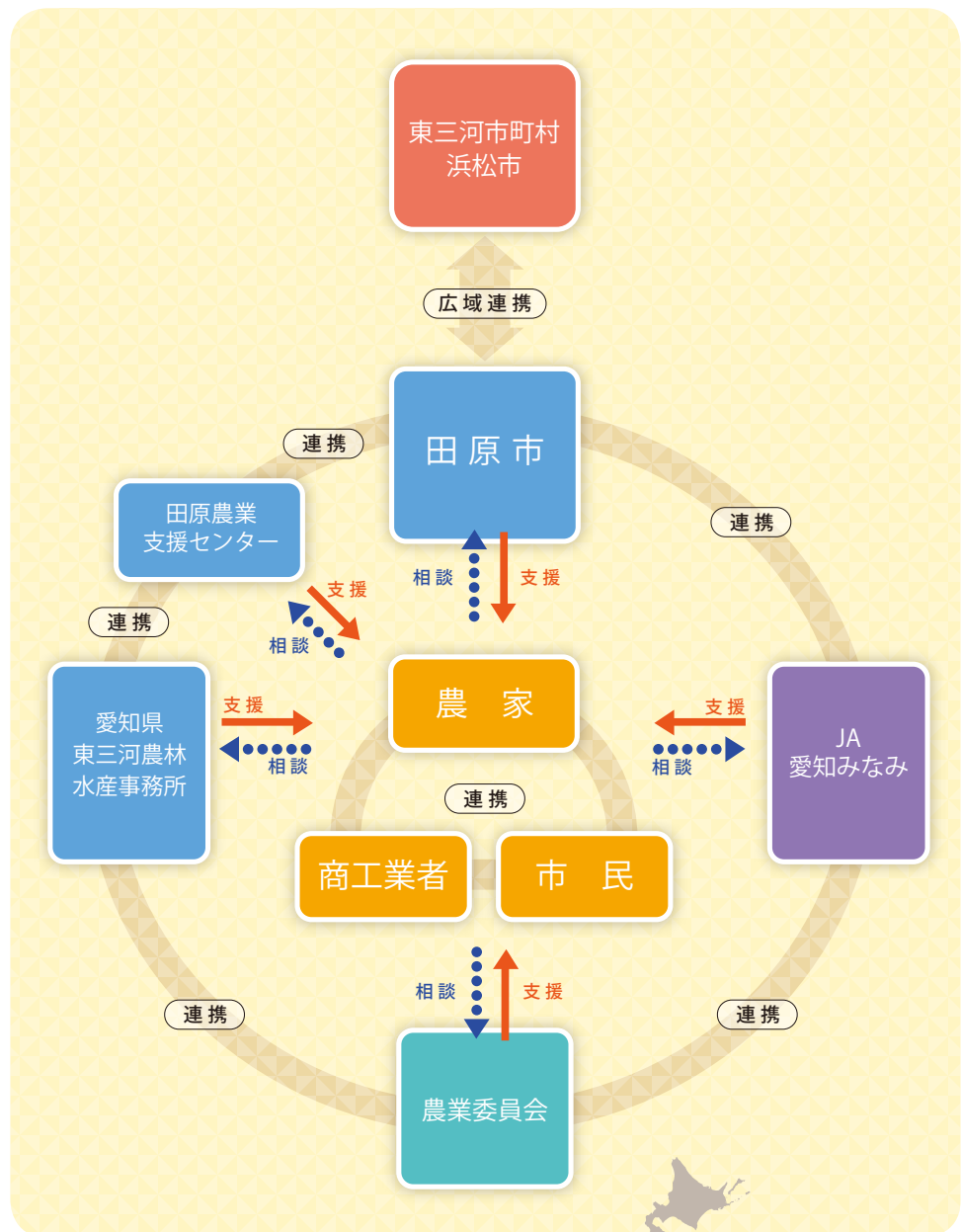
害虫被害が懸念される耕作放棄地



改善された農地

プランの推進体制

本プランを実現していくにあたり、農業の実施主体である農家を中心として、関係者との主体の連携・相談・支援体制により、『農を「強く」地域を「育む』』を目指します。また、プランの進捗状況や実効性を確認・把握するため、年度末に施策や事業の評価を行います。



たはら21新農業プラン

発行/田原市産業振興部農政課
 平成25年3月
 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1
 TEL:0531-23-3517 FAX:0531-22-3817
<http://www.city.tahara.aichi.jp>

